

ごうちゃんひろば

次の10年へ



知ろう 好きになろう 東十郷



ごうちゃんウォーク in グリーンセンター

6月9日(日)曇り空のなか、34名の方が参加されました。バスで到着後、グリーンセンターを1周歩きました。曇り空ということで、歩いていても気持ちがよかったです。

歩いたあとは、ニュースポーツ体験ということで坂井市スポーツ推進委員会のみなさんが、ディスクゴルフとモルックを丁寧に教えてくれました。自然を楽しみながら、グループで楽しくプレーができるということで、皆さん程よい汗をかいて楽しんでいました！



東十郷の地区

御油田

GO
YU
DEN



①演仙寺 ②八幡神社 ③地区の入り口に「なたね油献上の地」菜の花の里・御油田の看板がある

🔍 地区の紹介

集落名「御油田」を何と読みますか。「ごゆでん」「ごゆうでん」どちらだと思いますか。市の集落名は「前者」で、集落名の由来からすると「後者」です、なかなか難しいですね。

また、御油田の地名は、「越前国名蹟考」という史料に「この村は往古 豊原寺の蠟燭なる故 御油田と云う」と記されており、この地域の年貢が豊原寺の蠟燭料、仏事の費用に充てられていたことに由来する歴史があるようです。(広報さかいR4・8月号の引用)

📅 行事/イベント

区の活動状況は、子供会・松葉会(=青年会)・壮年会および、ニコニコサロンとシルバーメン

ズクラブ(=年齢横断的な2組織)等が中心的活動をしています。子供会とニコニコサロンは、花壇の定植や花壇の水やり当番を行っています。

近隣集落(河和田・長屋・さくら台)との連携では、民生委員児童委員を2期6年の地区持ち回りで対応しています。また、四区消防団を結成していて、各集落の区長と団員で構成し、長屋にポンプ庫がありメンテナンスは4区の月時の持ち回りでを行っています。

区のまつりは、八幡神社は7月の夏まつり、演仙寺の報恩講が10月にありメインです。

区としては、梅雨期や台風のシーズンには、竹田川と田島川の合流地点で、線下降水帯の発生等により洪水の心配があります。梅雨もほどほどであってほしいです。 令和6年区長



東十郷まちづくり協議会

〒919-0511 坂井市坂井町長畑 25-11-1
東十郷コミュニティセンター内 東十郷まちづくり協議会 TEL: 66-4567 FAX: 50-3083
E-mail: jugo-p@mx3.fctv.ne.jp (お問い合わせやご意見・ご感想もこちらまでお気軽にどうぞ)
http://www3.fctv.ne.jp/~jugo-p ※この冊子に掲載をご希望の方はふるってご応募ください。

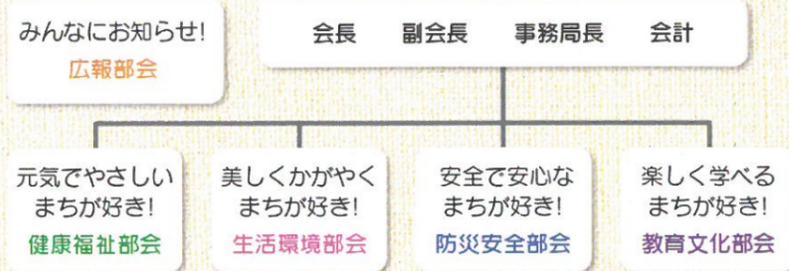


アサタもワタシもまち協の一員です

●まちづくり協議会ってなあに？

自分たちが住むまち、東十郷を良くしていこう、楽しくしていこうという組織が「東十郷まちづくり協議会」です。

●どんな組織なの？



●どんな活動しているの？



いっしょに取り組んだら楽しいかも

役にたったらうれしいかも

必要なのは、地域みんなのちからです！

まち協サポーター 大募集!!

まちづくり協議会では、部会ごとにいろんなイベントを行っています。いつもスタッフが足りなくて困っています。「部会に入るのはちょっと・・・」という方は多いと思いますが、それなら是非サポーターとして活動していただませんか？手伝える日だけでOK。手伝える時間だけでOK。いろんな人と知り合うこともできます。

「それならちょっとやってみてもいいかな」と思われる方は、下記にご連絡ください。お待ちしております。

TEL:66-4567 FAX:50-3083
E-mail: jugo-p@mx3.fctv.ne.jp
直接窓口へ

分からないこと等も
気軽にお問い合わせ
ください



現サポーターさん

私は、鉄道フェアと魚のつかみどりのお手伝いに行ったわ。子ども達とふれ合えたわ。



現サポーターさん

私は、カンタケ栽培の手伝いに行ったよ。手伝いながら自分も勉強できたよ。

次世代が愛され主役となり、 たのしく安心してくらせるまち

東十郷では、次世代が参加するワークショップを進めています！

- 子どもが住みたくなるまち
ニーズ調査チーム
- 子どもが主役の
交通安全チエックチーム
- 次世代とともに
丸岡駅再生・創成チーム
- みんなのコミセン
居場所づくりチーム
- 一人一人が物語をつぐむ
ガーデニングチーム



ws各班の発表風景
どこかのチームと一緒にやりませんか？

東十郷まちづくり協議会 活動計画

- 6月29日(土) 「伝えよつ福井地震の記憶」上映会開催
- 7月22日(月) ラジオ体操会
- 8月25日(日) せせらぎ水路清掃・アマゴつかみ取り
- 9月(予定) まち協日帰り研修旅行
- 9月18日(水) ウクレレとカフェ
- 9月20日(金) 丸岡駅開業一二七年記念饅頭配り
- 9月26日(木) ごうちゃんひろば 四十号発刊
- 10月5日(土) 駅舎でコンサート
- 10月20日(日) 鉄道フェア
- 11月 健康福祉講演会
- 11月10日(日) 消火設備点検
- 11月14日(木) 越前カンタケ栽培講習会
- 11月24日(日) オータムコンサート「いねす」にて
- 12月 教育文化講演会
- 12月12日(木) ごうちゃんひろば 四十一号発刊
- 2月2日(日) 健康フェスタ
- 3月16日(日) ふれあいまつり
- 3月27日(木) ごうちゃんひろば 四十二号発刊

AR ...このマークって？

- 1 下記のQRから無料のアプリ「COCOAR」をダウンロードします。
- 2 スキャンのボタンを押します。
- 3 ARマークが付いている写真を、カメラ内に収まるようにスマホをかざして見てください。次のページでも使用します。



2024.1.1 能登半島地震を受けて 今改めて1948.6.28 福井地震に還る



2019年発行(全戸配布)
伝えよう 福井震災の記憶 一東十郷一
全78作品より一部抜粋
(氏名の後の()は当時の年齢や学年)



五本 長谷川敏一さん(小一)
暗闇の中で、「カズ、カズ、カズ」と必死で呼ぶ母の声を聞いたんや。這い出して待っていた母の胸に飛びついた僕に、母はすぐに乳房を含ませてくれたんや。一年生にもなっておかしと思っうかもしらんけど、一稀にいた友だちもみんな母親に抱っこされてお乳を吸っていたんや。そうしてもらっていろいろになんかホッとしてだんだん恐怖や不安が収まってきたんや。あの時の母を思うと死んでしまった今になっても涙が出てくるんや。

定旨 五十嵐宣治さん(小六)
一歳半の妹がいまして泣き声がせんのやね。捜しに行こうにも家はバッチャンでずすから親では入れられん。子どもながら私は濡れた家に潜り込んで、余震で揺れる中、妹の寝ていた場所にたどりついたら、妹の頭の上に柱が倒れていて、頭に触ったら冷たい感じがしたんやが、私は子どもだから死んでいいの分かってるのかわからない。親に「頭に触ったら冷たいんや」と伝えました。親は近所の人を呼んでくれました。

下新庄 伊藤俊雄さん(中二)
小さい時から地震のときは竹やぶへ逃げろと言われていたのが、ガタガタと揺れ始めた時すぐに葉の竹やぶに逃げ込みました。両親が留守なのを知っていた近所の人からすぐ訪ねてきてくれて、「無事やったかーよかったなあ」と言ってくれたのが嬉しかったです。近所の人には田んぼから帰って帰って来た両親を見つけると、「よっほら帰ってこられたぞ。よかったなあ」と喜んでくれて自分の家に帰られました。

徳分田 佐藤孝子さん(中二)
福井地震のことをラジオかなんかで知った、徳分田から富山へ行った親戚の叔父さんが自転車に乗って来たんです。もうそくや釘や金づちの二がり等いろいろ乗せて。道路も砂利道がほとんどだし、石川との県境からは、家の倒壊や道路の地割れや段差等などい状況だったと思うのに、我が家だけでなく、あちこちの親戚を少しでも手助けしないとと思ったのでしようね。よくあんな遠いところから自転車駆けてくれたものだと、みんな本当に感激しました。私の忘れられない思い出です。

駅前 水上美智子さん(十九歳)
一人取り残された職場の横の小便室から煙が出ていたようです。余震で揺れる中近づく、湯沸かしをかけたかまどの火が、傍にあった座布団に燃え移っています。どんだん焦げていきます。どうしよう。よく見ると、湯沸かしにまだお湯が残っています。それで火を消し、ぎゅううと座布団を抱えていました。あの時火を消さなかったら、駅前には火の海になって、もっと被害が大きくなっただけかもしれません。

田島 斎藤英夫さん(小一)
私の家の前は竹藪でした。近所の人みんな集まってきて、「椅子あったで出してきてたわ」とか「ちよつと待てや。今、米炊くぞ」とかみんな助け合っていたら、みんなこうして助け合って切り抜けるんやなと、小さいながら心に刻みつけられたことを覚えていきます。

	死者数	家屋被害数	最大震度
福井地震	3,769人	約50,000棟 ※内36,000棟が全壊	7 この地震で、6まで測れる震度計が振り切れ、初めて7が創設された
東十郷村	111人	村全戸数2,203中 全壊2,018、半壊20	

長屋 中山末松さん(二三歳)
「あこの子が家の下敷きになってる」あそこのおばさんが下になつた。と次々に情報が来るんですね。長屋は七五軒あったが、みんな半分けて助けに行つたね。長屋は十人ほどが家の下になつたが、八人ほどは声が出る方へ走って命懸けで助け出したね。声が出ないところは、見当をつけたところをカのある若いものが命懸けで家を破りましたね。今みたいに消防に頼らうなどとは思わなくて、みんな自分からせんなんらんもんやと思つてましたね。そんなでも何人かは助からなかった。

御油田 多田淳政さん(三十七歳)
(六月二十八日の日記より)
午後五時十五分、予、畑へ出て茄子を見廻り中突如として激震きたり、這う這うとくしてラカン衝門の所に来たが建物急激に倒壊す、予、父母妻子の縁側に居しを思い出し、なお揺れる中を書院瓦を獲りて中庭に出るに、四人とも庫裡北側の縁側に屋根の下敷きとなつて居る。予、渾身の力を込めて瓦を外し屋根板をめぐり、下屋の穴間に入りまらずらを出す。かもしと敷居を持ち上げ母を出す。父は一番奥におり呼べど心えず手足冷えたり。壁の竹を折り壁を落とし、ようよう父を引き出す。直ちに人工呼吸せしむ。...

《紙芝居》忘れられない青梅の実

文：福島 宮田悦子さん(当時小学2年生) 絵：清水彰子さん ※上記 多田淳政さんのお子さん

1 AR 忘れられない青梅の実

庭で弟と遊んでいたらおやつを欲しがったんや。あこのころのおやつは庭の木になつてるもんや。ちょうど青梅がなつてたんで、竹の棒で落としては食べさせていたんや。

2

地震が起きたのはそんなときや。急にグラグラと揺れ、わけが分からんうちに家も小屋も倒れてのう。家の南側にいた私は、幸運にも下敷きにならずにすんだんや。

3

両親は田んぼの仕事に行つてたんや。私はどうしていいかわからんかった。弟をおんぶして小屋の屋根の上を歩いて人の声のする方に行つたんや。

4

泥まみれの母は、弟をおんぶした私を見つけると駆け寄って抱きしめ「えらかったー、えらかったー」と何度も言ってくれたんや。私は屋根で何度も転んで、顔中血だらけやつた。

5

庭に蚊帳をつつて近所の家族と共同生活をしたんや。次の日、細呂木の親戚が歩いてモロピタいっぱいにおにぎりを持ってきてくれたんや。あんとおにぎりの味は忘れられんわ。

6

共同生活のおばちゃんに、生まれて間がない赤ちゃんがいての。お乳が出なかつたんや。大人は忙しいんで、私ら3人が駅前の兵庫屋へ粉ミルクを買いに行くことになつたんや。

7

地震でぐちゃぐちゃの道を行くうち、みんな泣いてしもうての。やと駅前に着いたら兵庫屋も何もかもみーんな潰れていて、ミルクを買うどころかまた泣きながら帰ってきたんや。

8

まもなくおばちゃんも赤ちゃんも死んでしもうての。地震さえなければこんな辛いことにはならなんだのう。私は今でも青梅の実を見るたびあの地震のことを思い出すんや。

初めての方式による橋建設の作業を見学するため、全国から土木関係者、土木を学ぶ学生さんが集まっています。作業を熱心に見守っていたみたいだよ。(一九五三年、昭和二十八年)



PC橋の原理の模型

「十郷橋」完成の文字が見える



橋のミュージアム

ントとなったそうだよ。「十郷橋」の詳しい歴史を知りたくて、この十郷橋を竣工した敦賀市にある「株式会社日本ピーエス」を訪ねてみた。そして貴重な写真とお話を「日本ピーエス」の小泉さんから聞いてきたよ。

四月三日水曜日、冷たい雨の降る中、「日本ピーエス」の今年の新入社員十一名のみなさんが(今年で九回目なんだって!)十郷橋に来て、水路のゴミ・橋げたの草むしり・欄干の清掃と汗を流してくれていたんだ。先輩社員から、「草の根がコンクリートの割れ目を広げ、その中に雨水が浸み込んでコンクリートを劣化させてしまう、だから草むしりが大事なんだよ。」という橋げたの草むしりの重要性を聞きながら、冷たい雨の降る中、一所懸命清掃活動をしてくださったみなさんに、頭が下が



写真提供: (株)日本ピーエス

降の日本の橋梁建設の本流となり、ビル建設をはじめ、大型構造物に必要不可欠な工法へと発展し、現代の安全安心な社会基盤づくりに大きく貢献していることを熱心に教えてくれた。説明を聞いて、僕たちが住む足元にこんな素敵なフロンティア精神に溢れた場所があることを誇りに思っ、みんなに自慢したくなったんだ!



先輩社員から十郷橋の技法の説明を受ける



る思いでグツとこみ上げてくるものがあつたよ。(T.T)



日本最古の建造物が、僕たちの住む東十郷地区にもあるなんて驚いたね。先人たちの残した素晴らしい技術を、ぜひ見学に行ってみよう!



雨の中での清掃作業

橋自体は大きなものではないけど、その建設は、日本全体の架橋工事において、大きなターニングポイント



2013年選奨土木遺産に認定された「十郷橋」

我が国初のポストテンション方式PC道路橋
選奨土木遺産 『十郷橋』
丸岡駅近く、東十郷小学校、坂井高校の通学路に、橋長八m弱の「十郷橋」という橋があるの知ってる? 今から七十一年前の一九五三年(昭和二十八年)に完成した「橋」なんだ。戦後の復興と福井震災(昭和二十三年発生、マグニチュード七・一)からの復興が進展する七十一年前に造られた橋が今でも立派に道路橋として使われていることに驚きだよ!!



「ものいおぬ鬼と
向かいて75年」



東十郷地区の
じんぶつ

No.3 越前瓦鬼師 西郡正義さん



▲「お早良作」試作像(本像は現在 演仙寺に健つ)を見つめる西郡さん



▲仏間に配置する「鬼瓦」、重さは600kgもあるそうです。「形は誰でも作れる。だが温度差の激しい屋根の上で100年以上耐えるものを作るのが難しい。」とおっしゃっていました。

いいね！人物シリーズに今回登場していただくのは、新庄地区在住の西郡正義さんです。西郡さんは、越前瓦の鬼瓦作りをして七十五年の鬼師で、鬼瓦を専門に作る全国でも数少ない鬼師の一人です。東十郷コミセンに入り二階に上がる踊り場に、越前瓦の手法で作った「お早・良作」の一場面を切り取ったレリーフ像がありますよね。あの像の作者が西郡さんです。

西郡さんは一九二八年(昭和三年)あわら市に生まれ、十七歳の時に瓦工場の日雇いとして働く傍ら独学で鬼瓦の製法を会得し、それから七十五年、ひたすら鬼瓦を作り続け、全国で二〇〇を超える寺社の鬼瓦を八十八歳になるまで作ったそうです。

「思えば越前瓦の全盛時代から終焉に至るまでを見届ける最後の職人となってしまいました。瓦作り職人は無形です。身体は老いはれましたが何か残したい、残さねば…」との思いで、地元の瓦作りや自身の体験を題材にした文章を執筆し始め、小説(題して「瓦屋根蔵物語」)を同人誌「ふくい往来」に掲載中です。作品に込めたメッセージを一人間の命には限りがある。与えられたことを一生懸命に。それしかない」と語ってくれました。ただいま九十五歳の西郡さん、物語の最終章を執筆中。その創作意欲は本当に素敵ですね。



▲「瓦屋根蔵物語」が掲載されているふくい往来集

広報部が選んだ！
東十郷地区 桜10選

4月7日(日) ぽかぽか陽気に誘われて満開の桜を愛でに回ってきました。
わたしが選んだ桜10選を紹介します。



《東十郷小学校に立つ桜》子供と共に大きく育て



《長屋さくら台区》桜と川と菜の花



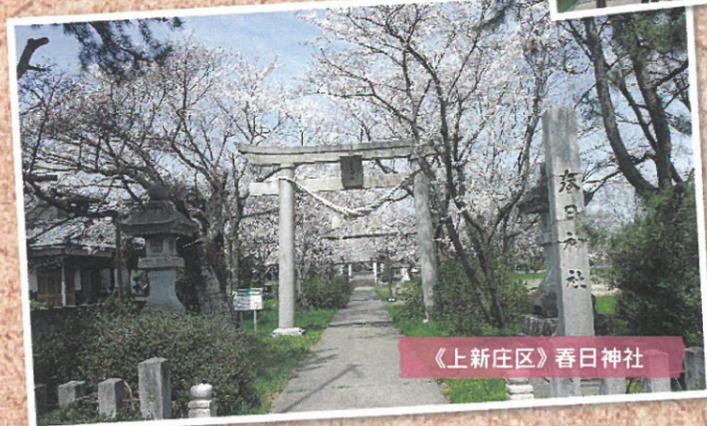
《定旨区》フクビ化学工場



《宮領区》宮領公園



《中央公園》桜と鉄道



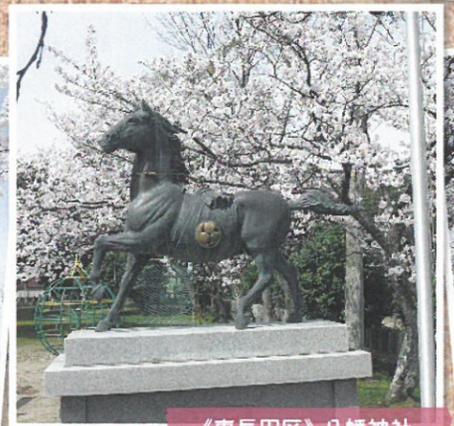
《上新庄区》春日神社



《河和田区》白山神社と北陸新幹線



《五本区》八幡神社



《東長田区》八幡神社



《若宮区》十郷用水跡地

